

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)

【公開番号】特開 2008-297507 (P2008-297507A)

【公開日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報 2008-049

【出願番号】特願 2007-147675 (P2007-147675)

【国際特許分類】

C 1 1 D 3/48 (2006.01)

A 6 1 L 9/01 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 7/26 (2006.01)

C 1 1 D 7/50 (2006.01)

A 6 1 L 9/14 (2006.01)

A 6 1 L 2/18 (2006.01)

A 6 1 L 2/22 (2006.01)

D 0 6 L 1/20 (2006.01)

B 0 8 B 3/08 (2006.01)

D 0 6 F 39/02 (2006.01)

B 0 1 J 19/08 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/48

A 6 1 L 9/01 H

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 7/26

C 1 1 D 7/50

A 6 1 L 9/01 M

A 6 1 L 9/14

A 6 1 L 2/18

A 6 1 L 2/22

D 0 6 L 1/20

B 0 8 B 3/08 Z

D 0 6 F 39/02 Z

B 0 1 J 19/08 D

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 2 日 (2009.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

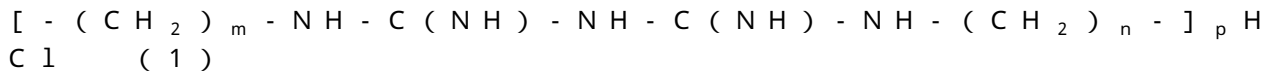
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

極限粘度法で求めた平均分子量が 5×10^6 以上で、直鎖状のポリ(メタ)アクリルアミドの 0.0001 ~ 0.01 重量% 水溶液あるいは水分散液 (A) と式 (1) で示されるポリ(ポリメチレンピグアナイド) 塩酸塩 (B) と、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、トリプロピレングリコール及びグリシンからなる群から選ばれる少なくとも 1 種以上の化合物 (C) とを含んでなる清浄化剤。



(式中、 m 、 n が2～5の整数であり、 p は5～16の整数である。)

【請求項2】

前記ポリ(メタ)アクリルアミド水溶液あるいは水分散液(A)が、乾燥することにより固形分濃度が上昇し、保水性ゲルを形成するものである請求項1記載の清浄化剤。

【請求項3】

前記化合物(C)が、グリシンである請求項1又は2記載の清浄化剤。

【請求項4】

前記ポリ(メタ)アクリルアミドが、両性荷電重合体である請求項1～3のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項5】

水溶性アクリル系共重合体を含む請求項1～4のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項6】

前記水溶性アクリル系共重合体が、(メタ)アクリル酸-(メタ)アクリル酸エステル共重合体のアンモニウム塩である請求項5記載の清浄化剤。

【請求項7】

水溶性無機塩を含む請求項1～5のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項8】

ゲル化剤を含む請求項1～6のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項9】

前記ゲル化剤が、水溶性のアルカリ金属の塩、水溶性の2価のアルカリ土類金属塩、アルミニウム化合物、炭素数が2～18の2塩基性カルボン酸及びこれらのアンモニウム塩及びこれらのアミン塩及びこれらのアミノアルコール塩、水溶性高分子化合物のジヒドラジド、グルタルアルデヒド、グリオキザールからなる群から選ばれる少なくとも1種である請求項8記載の清浄化剤。

【請求項10】

前記ゲル化剤が、前記ポリ(メタ)アクリルアミドが陰性荷電重合体又は陽性荷電重合体である場合、いずれも逆荷電のポリ(メタ)アクリルアミド及び/又は他の高分子化合物の塩類の水溶液である請求項8記載の清浄化剤。

【請求項11】

脂肪酸塩又はその誘導体を含む請求項1～10のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項12】

相間移動触媒として、第四級アンモニウム塩、グリコールエーテルまたはクラウンエーテルのいずれかを含む請求項1～11のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項13】

炭素数が4～12のアルコールアミンを含む請求項1～12のいずれか1項に記載の清浄化剤。

【請求項14】

磁性物質を含む請求項1～13のいずれか1項記載の清浄化剤。

【請求項15】

前記磁性物質が、微粉末状の鉄、コバルト、ニッケル、マグネタイト又はこれらの金属を界面活性剤で分散させた磁性流体のいずれか1種以上である請求項14記載の清浄化剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

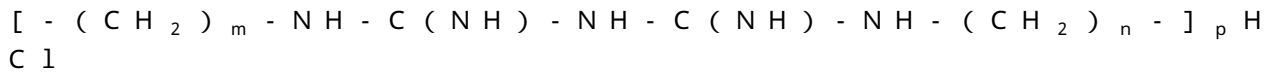
【補正の内容】

【0014】

すなわち、本発明は、極限粘度法で求めた平均分子量が 5×10^6 以上で、直鎖状の

ポリ(メタ)アクリルアミドの 0.0001 ~ 0.01 重量% 水溶液あるいは水分散液 (A) と式 (1) で示されるポリヘキサメチレンピグアナイド塩酸塩 (B) と、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、トリプロピレングリコール及びグリシンからなる群から選ばれる少なくとも1種以上の化合物 (C) とを含んでなる清浄化剤を提供するものである。

式 (1)



(式中、m、n が 2 ~ 5 の整数であり、p は 5 ~ 16 の整数である。)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

本発明の清浄化剤は、溶剤としてプロピレングリコール、ジプロピレングリコール、トリプロピレングリコール及びグリシンからなる群から選ばれる少なくとも1種以上の化合物 (C) を含むものである。

これらは、前記 PHMB (B) の溶解性に優れ、除菌、消臭性を効果的に発揮することができる。